



TITLE:

後記

AUTHOR(S):

CITATION:

後記. 静脩 1995, 31(3): 8-8

ISSUE DATE:

1995-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37293>

RIGHT:

図書館の動き

商議会の開催

平成6年度第2回の附属図書館商議会が、平成6年11月29日に開催されました。今年度の実行予算案、附属図書館長候補者選考の手続きについて、等が協議されました。

大学図書館職員講習会

平成6年11月7日から10日にかけて平成6年度大学図書館職員講習会（文部省主催）が本館を会場として開催されました。京都会場には、西日本の国公立大学等の中堅職員99名が参加しました。なお、翌週には（東地区）の講習会が東京大学で開かれております。

閲覧システムの更新予定

附属図書館の閲覧システム（総合人間学部も含む）は導入からすでに10年以上を経過し、老朽化してきたため、来年度からワークステーションによる新システムを導入する予定で準備を進めています。新しい閲覧システムは、部局図書室（館）での導入も可能なものとなっています。

目次

<巻頭記事>

日本における科学の歴史資料保存…………… 1

<その他の記事>

「空」から「雲」へ、「雲」から「空」へ…………… 4

<報告>

平成6年度附属図書館展示会「吉田松陰とその同志」、および電子版展示会報告…………… 5

「OPAC/TSS利用者アンケート」集計結果について…………… 6

第7回国立大学図書館協議会シンポジウム（西

目録業務システム専門委員会の開催

平成6年11月30日に平成6年度第3回目の専門委員会が本館で開催されました。今回は、先に全国の国立大学を中心に実施した目録業務に関するアンケートの集計や分析を行うとともに、学術情報センターから目録担当者を招請し、目録業務をめぐる諸問題について協議しました。

ILL システム地域講習会の開催

平成6年12月5日から7日まで、学術情報センターとの共催でILL システム地域講習会が本館で開催されました。今回の講習会には他大学および京都大学から10名の参加者がありました。

電子図書館ワーキンググループの設置

平成6年秋に行われた電子図書館システム（Ariadne）の公開実験を踏まえ、本館所蔵資料のデータベース化の推進と、インターネットを利用した情報の収集・発信等を検討するため、館内にワーキンググループを設置しました。

地区）に参加して…………… 7

<図書館の動き>

商議会の開催…………… 8

大学図書館職員講習会…………… 8

ILL システム地域講習会…………… 8

閲覧システムの更新予定…………… 8

目録業務システム専門委員会の開催…………… 8

電子図書館ワーキンググループの設置…………… 8

後記

あけましておめでとうございます。去年は天変地異が頻発し、騒々しい1年でしたが今年はどんな年になるのでしょうか。報告にもありますように、去年の秋、附属図書館では電子図書館のデモを行いました。今年にはさらに腰を落ちつけて電子図書館システムの内容について改良を進める予定です。

さて、今年は亥年、猪突猛進のイメージがありますが、猪は意外と慎重で注意深い性格のようです。また、中国では亥は豚と混同されることもあるのですが、日本と比較した場合民俗学的にもしるい現象ではないでしょうか。

(M)

